

PTA 研修便り 第5号

平成 31 年 1 月 8 日 発行

平成 30 年 11 月 16 日（金）、「株式会社 JR 西日本あいウィル」の見学会をおこないました。当日の参加者は、教員、保護者合わせて 17 名でした。

会社は、JR 尼崎駅から西へ 750m、徒歩約 10 分のところにあります。緑の芝生に囲まれた白を基調とした平屋の社屋で、窓が大きく明るい印象でした。会社紹介の DVD を見せていただいた後、総務課 平山様のご案内でフロア見学、たまがわの卒業生との質疑応答がありました。会社案内のパンフレットとお土産（オリジナルのノートとメモパッド）をいただきました。

見学会の報告

— 特例子会社とは —

民間企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。現在従業員 45.5 人以上の企業には 2.2 パーセント以上の雇用が義務付けられているので、従業員数の多い大企業ではそれだけで一つの会社が作れるほどになります。特例子会社では、様々な障がいのある方を雇用するため、設備面の準備や環境調整をおこなっており、受け入れ体制が整っていることが多いです。



— 会社紹介（DVD） —



平成 19 年 10 月設立。社名は意志や決意を示す英語の “I will” から来ており、「社員一人ひとりが自分らしさを発揮しながら、自らの意志で積極的に行動する会社となることを目指す」との思いを込めています。

平成 21 年 5 月に特例子会社として認定。2018 年 6 月現在、社員数 204 名（うち健常者 55 名・障がい者 149 名）。JR グループ全体として 2.63% の高い雇用率を達成している。

主に JR グループ内向けの仕事をしている。尼崎の本社に総務部（社員 204 名分の給料・会計、備品・制服の管理、健康診断などの健康管理、福利厚生企画など）があり、岡山支店、広島支店がある。事業内容は、印刷事業部（JR グループ内外向けの仕事。デザイン・校正・印刷・製本）、ビジネスサポート事業部（給与明細などの封入・発送、事務補助など）、ヘルスケア事業

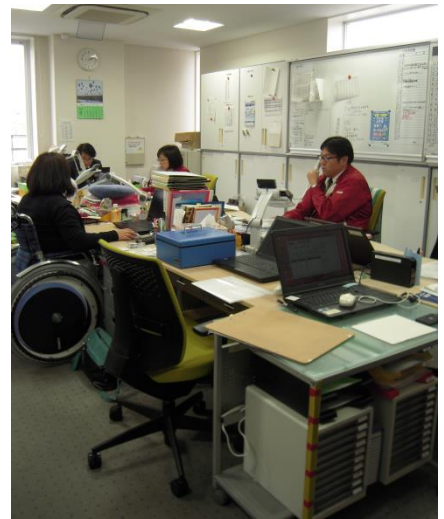
部（JR グループ社員向けのマッサージなど。主に視覚障がい者雇用）、ビルクリーニング事業部（JR各社のビル清掃など）、グリーン・アグリ事業部（JR 施設内の植栽の管理、除草、芝生管理など）があり、各部門にジョブコーチを配置している。

各事業部の社員のコメントとして、「製品が完成した時にやりがいを感じる。自分で考え行動できることが嬉しい」（印刷事業部）、「集中は得意だが、周囲への目配りがにがて。それを認めてもらっている」（ビジネスサポート事業部）、「社員それぞれの理解が高く、サポートも充実していて助かる」（ヘルスケア事業部）、「きれいになったお礼を言われると嬉しい。挨拶がにがてだったができるようになった」（ビルクリーニング事業部）、「みんなやさしく教えてくれて仕事楽しい」（グリーン・アグリ事業部）など。社内のレクリエーション活動も盛んで、登山部・テニス部・ランニング部・フットサル部・写真部・着付け教室などがある。

—各フロア見学—

＊事務室 —総務部—

様々な配慮がありました。ドアはスライド式で車いすに乗ったままでも楽に開閉ができる。室内の絨毯は車いすが移動しやすいように固めのもの。スイッチの位置は低め・コンセントは高めで車いすでも使いやすく工夫されている。どの位置からでも取りやすい可動式の電話機や高さ調整のできるデスクもある。コピーなどの複合機器も操作面が通常より低く設置されている。



＊共用エリア

廊下 バリアフリー。車いすが余裕を持ってすれ違えるよう幅を広くとっている。壁には手すりが設置されている。

トイレ スライドドアのところに点字の案内板がある。トイレは左右対称に作られていて、左右どちらからでも車いすから移動しやすくなっている。

更衣室 車いす用のロッカーや移動式の畳スペース（着替えの時など便利）がある。シャワー室もあり、活発な人が多いのでよく使われている。

＊作業エリア —印刷事業部— ブリプレス課



2011 年入社の小西さんが、仕事の内容を詳しく説明してくださいました。社内誌やポスター等をデザインソフトやワード・エクセルなどを使用して編集する仕事です。また、仕事を通じて学んだこととして、「コミュニケーションがもともとにがてですが、仕事を円滑に進めるためにはコミュニケーションが大事だと気づかされました。ここでは部署間で間仕切りがないため、他部署の動きを知ることができます。」と語ってくださいました。

印刷工場

多彩な印刷物をオフセット印刷機を使用し印刷します。その後、製本・加工、品質確保（汚れや落丁を検品）、包装・梱包をします。ほとんどJRグループ内の仕事ですが、年に10～15件はJR西日本グループ以外の仕事もあります。

印刷室の入り口には指文字の大きなポスターが貼ってありました。また、印刷機器は稼働している時の音が大きいので、情報を伝達する方法としては視覚を使ったものが多く、シグナルや手話を有効に活用しています。

☆卒業生のSさんが梱包・発送作業をしていて、自分の仕事等について説明してくれました。



—卒業生との質疑応答—

＜自己紹介＞

卒業生Yさん 7期生 ビジネスサポート課 4年目

卒業生Sさん 10期生 ビジネスサポート課 1年目

*ビジネスサポート課 各種印刷物やノベルティ等の仕分け・梱包・発送作業を中心に、アンケート・名簿の入力業務や、書類・図面のPDF化作業に、積極的に取り組んでいます。

＜質疑応答＞

～事前に質問事項をお伝えしていました～

質問1. 入社までの経緯、入社時の志を教えてください。

Yさん 3年生の9月に実習に行き、雰囲気の良い会社なので、ここで働きたいと思いました。先生に相談し、その事を伝えていただくと、では次の段階に進みましょうと言っていたので、そのまま就労につながりました。面接は2回受けました。

入社した時がんばりたいと思っていた事は、会社の人とできるだけたくさんのコミュニケーションをとりたいという事で、そのためには敬語は本当に大切だと思いました。

Sさん 私も3年生の実習がきっかけでした。良い会社なので、がんばって仕事を覚えて、楽しく仕事がしたいと思いました。あと、お給料を休日を充実して過ごすために使いたいと思いました。

質問2. 在学中に学校生活で取り組んだことで役に立っている事は何ですか？

Sさん 挨拶指導です。それと、いろいろなところに実習に行ったので、合う合わないが自分でよく分かり、良かったと思います。

Yさん 私も、たまがわの挨拶指導と敬語の取り組みが良かったと思います。誰にでも、会ったらきちんと挨拶ができることは、一番大切な事だと思います。

質問3. 家庭で取り組んだことで役に立っていることは何ですか？

Yさん 休日に家事を手伝っていたことが、会社生活でも役に立っています。

Sさん 家庭で取り組んだことは、ほとんどありません。

質問4. 仕事で楽しいこと、嬉しいこと、しんどいことは？

Sさん ひとりの仕事が好きです。嬉しいことは、ひとりの仕事が増えた時。しんどいことは、暇な時間がつらいです。いつも仕事をしていきたいです。

Yさん 楽しいことは、新しい仕事が自分でうまくできた時です。嬉しいことは、他の人のサポートをしてうまくいき、お礼を言われた時です。しんどいことは、私も暇な時です。仕事を探さなければならない時はしんどいです。

質問5. 昼休みの過ごし方、休日の過ごし方、お給料の使い方を教えてください。

Yさん 昼休みは、食堂でみんなとしゃべって過ごします。休日は、ショッピングをしたり、家で休息をしたりします。お給料は、貯金しています。好きなものを買ったり、仕事で必要なものを買ったりもします。

Sさん 昼休みは、みんなとしゃべったり、スマホを見たり、昼寝をしたり。休日は、車の運転が好きなので、車で出かけたり、サッカーをしたり、友達と遊んだりです。お給料は、貯金をしたり、ほしいものを買ったりします。

質問6. 通勤にはどのくらいかかりますか？

Sさん JRで、乗り換えなしで40分くらいです。

Yさん 乗り換えが2回あり、1時間くらいかかります。

～当日の質問～

Q. 今まで、お仕事で困ったことがありますか？

Yさん 入社したての頃は、実習生に教えるのが苦手でした。どう伝えたら伝わるのか、悩みました。

Sさん 私も同じです。なかなか伝わりにくい人が相手の時は困ります。

Q. お仕事でパソコンを使われると思うのですが、どのくらいできますか？

Yさん 学校では流通サービス科だったのですが、今でも学校で使っていた程度です。

Sさん 私は、ものづくり科でした。パソコンは得意ではありませんが、教えてもらえばできる程度の事をしています。

Q. Sさんは車の運転が好きという事ですが、免許証はいつごろ取りましたか？

Sさん 取れるようになったらすぐに取りに行きました。親にも勧められていたので。一発合格でした。学科の勉強はアプリでしました。費用は親が出してくれました。

Q. 就業時間を教えてください。

Yさん 9時00分から17時45分です。

Q. 将来、一人暮らしをしたいですか？

Yさん したいです。結婚もしたいと思っています。



Sさん 親からは、二十歳になったらしてもいいと言われていますが、ラクをしたいし、決めていません。

Q. 在校時、なにか部活をされていましたが？卒業してから入社するまではどう過ごされていましたか？

Yさん 部活はしていませんでした。他にすることがたくさんあったので。卒業式の翌日が会社説明会で、その後は入社まで準備に追われていました。

Sさん サッカーをしていました。全国大会にも行き、優勝しました。卒業後も学校の部活に行ったり、友達と遊んだりしていました。

Q. 友達は、たまがわの時の友達ですか？

Yさん・Sさん そうです。今でも付き合いがあります。

Q. 電車通勤ですが、学生時代から電車に乗るのは大丈夫でしたか？

Yさん 電車に乗る機会は多かったと思います。通勤も、慣れたらしんどくありません。

Sさん 私は乗り物が好きなので、電車で 120 円で2府4県を回るなどのチャレンジをしたりしました。車は好きですが、渋滞が嫌いなので遠出はしません。

Q. たまがわの5教科の授業で役に立ったことは何ですか？

Yさん 国語でメモの取り方を習ったことです。社会で大阪の地名を勉強していたのも役に立っています。

Sさん 発表する機会がたくさんあり、人前で話す練習をたくさんしたことは良かったです。

Yさん 清掃の授業で習った、トイレ掃除のときの手袋の洗い方も役に立ちました。洗い方をちゃんと知っている人が少ないので、感心されます。

Sさん 私は清掃が苦手だったので、あまりやっていませんが、それでも清掃を3年間学んだことは役に立っていると思います。

Q. 今は楽しそうに働かれています。在学中に行った実習で「自分に合わないな」と思ったことは、何かありますか？

Yさん ピッキングです。重い荷物を運ぶのが大変でした。今は重いものを運んでいると、すぐに誰かが持ってくれたりします。

Sさん 1年生の時の印刷工場での仕事が大変でした。チームで仕事をするのが苦手なので。2年生の時はスーパーとテニススクールで、一人でする仕事だったので大丈夫でした。

Q. 毎日お仕事をされていますが、今でも家のお手伝いはされていますか？

Yさん 洗い物などを手伝っています。

Sさん 自分の食器を運ぶくらいです。

Q. 何か資格を取りましたか？

Yさん 資格ではないですが、パソコンのアビリンピックで賞を取れました。入社後も、オフィスアシスタント部門で全国3位に入賞しました。

Sさん 危険物取扱者丙種の資格を取りました。

～最後に、学校で学んだことで、他に役立ったことはありますか？～

Yさん 感謝する気持ちを持てるようになったことです。たまがわの友達や自分自身の趣味も大切にしていきたいです。

Sさん ものづくり科で身だしなみの大切さを学んだことです。職場での身だしなみに気を付ける事は、機械に巻き込まれたりしないためにも大切な事。安全第一なので、いつも用心しています。

＊2人とも一人称は常に「わたくし」でした。社員教育が行き届いているようです。

長い質疑応答にもしっかりした態度で完璧に答えていただき、先生方も卒業後の成長ぶりに驚いておられました。後日先生方に、在学中の二人がどんな生徒さんだったのか、様子を教えてくださいました。

—たまがわ在学中の様子—

<7期生女子 Yさん>

1、2年生の時は、どちらかというと引っ込み思案であり目立たない生徒でしたが、3年生になって就労についての意識が高くなり、積極性も身についてきました。授業やホームルームなどで先生が話をしている時は、必ずメモを取ってうなずきながら話を聞いていました。いつも何事にも素直に前向きに取り組もうという姿勢がありました。文字を書くのがあまり得意ではありませんでしたが、それも地道に努力を重ねていました。教えてもらったことは吸収しようとする面が、とても良かったです。

<10期生男子 Sさん>

入学当初は、いろいろなことに対する自分なりのこだわりがあり、自分のペースで動いてしまうこともありましたが、2年生、3年生と学年が上がるにつれて、こだわりもあるけれど自分なりに消化出来るようになっていきました。まじめで、やらなければいけないことにはしっかり取り組む姿勢がありました。3年間サッカー部に所属して練習に励み、2年生の時には全国大会に出場することが出来ました。おだやかで優しいところがあり、友達が多く、その中でも特にまじめな友人の影響を受けて成長できたところもあると思います。

みなさんの感想

◆卒業生のお二人の生き生きとした様子を見て、働かされているのではなく主体的に自分の意志で働けることが、こんなにも人を成長させるのだとあらためて思いました。また、特例子会社は環境や条件が整っている反面、いろいろな障がいを持った人達がチームワークを大切に、良い職場環境を築いていくために、高いコミュニケーション能力が求められるのだと感じました。

◆障がい者雇用という言葉は知っていても、実際に働かれている方を拝見する機会は少なく、実際にお話を伺ってみたいなあという思いで参加させていただきました。社員の皆様が障がいがあってもそれをマイナスにとらえず、自分の特性を活かし、明るく生き生きと働かれている姿がとても印象的でした。企業側の理解のもと、施設の工夫などいたるところにされていて、トイレの案内に点字案内をつけたことによって、視覚障がいのある方も社員として活躍されているという

お話があり、事前にそういう設備があることで安心して働けることにつながっていくのだ、と感じました。卒業生の方のお話も伺え、立派に質疑応答、説明されている姿に感動しました。

◆目映い緑の芝の上に浮かぶように JR 西日本あいウィルの社屋がありました。開放感ある社内はバリアフリー、廊下の曲がり角の床には一時停止の案内、さらにカーブミラーがあり、出会い頭の怪我がないように自然に注意を促す工夫がされていました。印刷室以外は無音に近く、静かな社内で社員の方々が落ち着いて仕事に集中できる環境が整っていました。普段気にとめることのないカーペットの硬さにまで配慮があり、からだの不自由な方のためにデスク上を自由に移動できる社内電話を設置されていました。バーベキューを他社とする企画を立てるなど、積極的に交流される風通しのよさを感じる会社でした。卒業生のお話では、一人の方は将来結婚のために貯金を、もう一人の方は免許を取得してドライブを楽しむなど、ライフワークバランスが取れていて、我が子もこうなってほしいなあ、と希望をもちながら楽しく伺いました。お二人は就労のためには「挨拶がきちんとできることが大切」と話されていました。学校では先生方が勉強、礼儀など多方面からご指導くださっています。家庭でも照れることなく挨拶や丁寧な日常会話をする事の大切さを感じました。職場見学で貴重なお話といろいろな気づきをいただきました。ありがとうございました。

◆いろいろなタイプの障がいのある方が就労できるようにと、細やかな工夫がされており、バリアフリーの大切さを感じることができました。さすがに母体が大手だけありますね。あと、一番驚いたのは卒業生のお二人のお話で、質疑応答の受け答えがとてもしっかりされていて、そこに感動しました。たまがわで勉強してきた挨拶や身だしなみなどが社会に出て一番大切に役立っているということでした。そうですね。

◆様々なタイプのハンディを持った方がみなさん生き生きと働いておられ、とても素敵な会社だと思いました。たまがわの卒業生のお二人も立派に仕事をこなし、また、たくさんの質問に一生懸命丁寧に答えてくださる姿はなんだかまぶしくて、憧れや目標の存在のように思え、後輩の親として誇らしくもありました。お二人とも、たまがわで学んだことや友達とのご縁を大切にしながらがんばられていることが、とても伝わってきて、仕事に対して素直な気持ちで向き合う土台をたまがわで培われたんだなと感じました。我が子もお二人が大事だと話されていた感謝する気持ち、挨拶を忘れず、就労してから充実した日々を過ごしてほしいですし、私自身も日々心に留めてサポートしていきたいと改めて思いました。

◆尼崎は遠いですね。私共のほうからは行きにくい所だと思います。学校を卒業してからの進路としては今のところ難しいです。

◆仕事場は障がいのある人が働きやすいつくりになっていてとてもきれいでした。卒業生への質問では、どれもしっかり答えてください、和気あいあいとした感じで楽しかったです。特に余暇の過ごし方が、ちゃんと趣味もあって充実しているんだなあと感じました。自分の子にもこういう風になってもらいたいと思いました。

◆◆◆みなさんどうもありがとうございました◆◆◆